

「小中学校の交流を図る中で、  
地域の様子や子どもたちの様子を知り、  
連携して塩山中学校区の子どもたちを  
育てていこう」

## I 主題設定の理由

「地域で子どもを育てよう」の考えを基に地域に開かれた学校づくりが進められている現在、学校現場においても小学校・中学校の連携の必要性が高まっている。塩山中学区ブロック交流研究会の役割は、小学校・中学校の教職員が共通理解を深め、課題意識をもち、子どもたちの育成にあたることだと考える。そのために、小学校・中学校の交流を進める中で、地域・子どもを知り教育活動を実践していく。

## II 研究の具体的内容

### 1 第1回ブロック交流研究会「地区めぐり」

- (1) 日時 8月13日(水) 13:30~16:00
- (2) 目的 地区内の観光や文化財、産業、および食育の学習をとおして地域を知り、子どもたちの学習に役立てる。
- (3) 内容 ①4つのコースに分かれて、地区めぐりをする。  
②学校ごとに、4つに分かれて参加する。
  - ア 【観光コース】甲州市の観光を知ろう
    - ①大日影トンネル 遊歩道とトンネルワインカーヴ
    - ②ぶどうの歴史の学習、宮光園の映像を視聴(甲州市民文化会館)
  - イ 【歴史コース】甲州街道の史跡を巡る
    - ①駒飼宿
    - ②鶴瀬宿(口留番所)
    - ③武田不動尊・横吹集落
    - ④柏尾坂古戦場
    - ⑤勝沼宿
    - ⑥杉の御坊「万福寺」
  - ウ 【産業コース】甲州のぶどう・ワイン&かつぬま焼き
    - ①甲州のぶどう・ワインのセミナー(ぶどうの丘)
    - ②かつぬま焼体験(かつぬま焼窯元土夢)
  - エ 【食育コース】食育って何?
    - ①食育・塩山式手ばかり講座

どのコースも講師の方や施設の方に丁寧に説明していただき、充実した内容であった。また、小中の先生方のよい交流の機会とすることができた。

## 2 第2回ブロック交流研究会「塩山中学校授業公開」

(1) 日時 11月5日(水) 授業参観 14:00～14:50  
交流会 15:00～16:00

(2) 目的 塩山中学校の授業の様子と各小学校の卒業生の様子を小学校の教職員が参観し、交流を図る中で、塩山中学区の課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容 ①中学校の授業の様子を小学校の教職員が参観する。  
②分科会に分かれて交流する。  
③各校の校内研の研究内容などについて交流をする。  
④学区の課題等について話し合う

授業参観の後、3分科会に分かれて交流会をもった。前半は、塩山中学校の様子を話していただき、後半は授業参観の感想と意見交換を行った。

## 3 第3回ブロック交流研究会「塩山南小学校授業公開」

(1) 日時 1月14日(水) 授業参観 14:00～14:45  
交流会 15:00～16:00

(2) 目的 塩山南小学校の授業の様子を中学校の教職員及び他の小学校の教職員が参観し、交流を図る中で、塩山中学区の課題を明らかにし、連携して子どもたちを育てていく。

(3) 内容 ①塩山南小学校の授業(全クラス公開)の様子を塩中、奥小、北小の教職員が参観する。  
②分科会に分かれて交流する。  
③学区の課題等について話し合う

授業参観の後、2分科会に分かれて交流会をもった。前半は、塩山南小学校の子どもの様子を話し、後半は授業参観の感想と意見交換を行った。

## III 成果と課題

- ・中学校の公開は、小学校の教職員にとって卒業生の中学校での学校生活を見るととてもよい機会であり、是非毎年行ってほしい。
- ・授業公開で、他の学校しかも全校の様子を見られることは、とてもよい刺激になる。
- ・地域を知る活動は、個人ではなかなか体験できないのでよいと思う。
- ・3回の交流研究会の構成は、地区巡り、授業公開ともよいのではないか。
- ・授業を見合うことは有意義な活動だと思うが、小中に共通の柱があったほうがよいのではないか。他の人とうまくかかわれない子どもが増えているように感じるので、構成的グループエンカウンターやソーシャルスキルトレーニングなどの授業を小中で行ってみたいかどうか。
- ・分科会の人数が多く、話しづらい面もある。教科で分けるなど、少人数での話し合いで、内容が深まるのではないか。
- ・3学期は、講習会などに切り替えてもよいのではないか。
- ・夏休みの研究場所については、数を増やすなど検討が必要ではないか。

(ブロック長 藤波 貴)